ザンビアの経済概況・月報（2017年1月）

	主なマクロ経済指標	2016年	2017年
1.	人口 （百万人）	16.21(2015)	-
2.	人口増加率 （%）	3.11 (2015)	-
3.	失業率 （%）	7.4(2014)	-
4.	平均寿命 （年齢）	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5.	GDP （百万米ドル)*1	21,154(2015)	-
6.	GDP成長率 （%）	2.9(est)	4.0(proj)
7.	一人当たりGNI （米ドル）	1,490(2015)	-
8.	インフレ率 （%）	18.2	7.0(Jan)
9.	消費者物価指数 （2009年=100）	183.66	191.28(Jan)
10.	貿易収支 （百万米ドル）	325.0	-
11.	対日貿易収支 （百万米ドル）	-22.90*3	-
12.	輸出 （総額, 百万米ドル）	7,036.0	-
13.	対日輸出 （百万米ドル）	24.13*3	-
14.	輸入 （総額, 百万米ドル）	6,710.0	-
15.	対日輸入 （百万米ドル）	47.03*3	-
16.	経常収支 （百万米ドル）	-932	-
17.	対外直接投資 （百万米ドル）	-283 (2015)	-
18.	対内直接投資 （百万米ドル）	1,653(2015)	-
19.	金・外貨準備高 （百万米ドル）	2,195(est)	2,430(proj)
20.	対外債務残高 （百万米ドル）	8,785(2015)	-
21.	為替レート （対米ドル）	9.81ZMW (end-period)	9.93ZMW(Jan)
22.	主要政策金利 （現行，年利%）	13.0	15.5

※( ) 内の年月は，その年あるいは月の確定値／予測値。　※小数点第3位以下四捨五入

*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	
*3	2016年1月から12月までの累計額。1USD=111円（2016年12月までの日銀基準外国為替相場月間平均）を用いて換算
	＜2016年12月＞
	主要**輸出**品目：銅／メイズ／発煙硫酸／植物性油脂及びその分別物／飲料水
	主要貿易相手国（**輸出**）：スイス 44.0%，中国 24.0%，コンゴ（民） 5.9%，シンガポール 5.4%，ジンバブエ 3.7%，その他 17.0%
	主要**輸入**品目：銅／コバルト／電力／軽油／内燃機関用燃料
	主要貿易相手国（**輸入**）：南アフリカ 34.9%，コンゴ（民） 17.2%，中国 7.6%，モザンビーク 6.7%，アラブ首長国連邦 4.7%，その他 28.8%
*4	

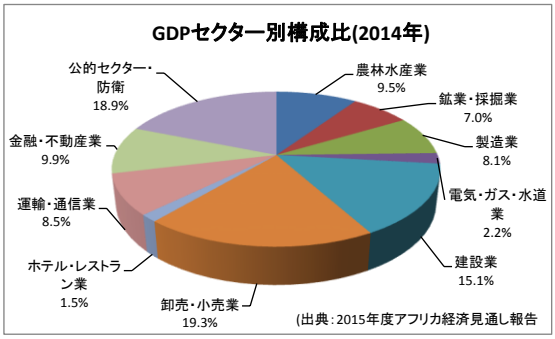
＜出典＞
1, 2, 5–7, 20:World Bank／3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO& Ministry of Labour and Social Security)／4, 16:The World Factbook (CIA) ／8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report／ 19, 21(2016): Country Report (EIU) ／11, 13, 15:日本国財務省貿易統計／17, 18:UNCTAD／21(2017), 22:Bank of Zambia

＜ザンビアの税制度 ～鉱業関連～＞

（出典：ザンビア歳入庁(ZRA)，ザンビア採取産業透明性イニシアティブ（ZEITI））

1. 法人税(Corporate/ Company Tax)：35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
2. 付加価値税 (VAT)：16%。
3. 採掘権料 (Mineral Royalty)：
4-6%（ロンドン金属取引所（LME）の銅価格に応じて変動）。
4. 関税及び消費税(Customs & Excise Duty)：
関税は商品（コモディティ）毎により，0 – 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税（ゼロ関税）。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
5. 源泉徴収税(Withholding Tax)：15%。

※鉱業権を有する者は，採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税，消費税，及びVATを免除される。



主要な経済ニュース（1月）

1. “エネルギー規制委員会(ERB)，燃料価格を値下げ”（Times, 4日）
エネルギー規制委員会(ERB)は，燃料価格を値下げし，右値上げは3日深夜から実施される。今回の値下げにより，ガソリンは1リットルあたり1.2クワチャ減の12.5クワチャ，ディーゼル燃料は1リットルあたり0.7クワチャ減の10.7クワチャ，灯油は1.22クワチャ減の6.81クワチャとなる。

2. “ザンビア政府，アーミーワーム対策に3.08億クワチャ拠出”(Times, 7日)
ザンビア政府は，アーミーワームへの対策に向けて3.08億クワチャを拠出した。ムタティ財務大臣は，アーミーワームが農業の発展にネガティブな影響を与えているゆえに経済多角化の脅威となっている旨発言した。

3. “ザンビアのタバコ生産量が減少”（Times, 10日）
昨今発表された報告書によると，世界的な需要減によって，2016年のザンビアのタバコの生産量は前年比37.5%減の2万1,622トンへ減少した。

4. “ザンビアと日本がインフラに関する合意に署名”（Times, 13日）
12日，ザンビアと日本は，インフラ改善を目的としたMoUに署名した。MoUには，ロナルド・チトテラ住宅インフラ開発大臣がザンビア側を，末松信介国土交通副大臣が日本側を代表して署名した。チトテラ大臣は，12日にルサカで開催された『官民インフラ会議』を前に，ザンビア政府が150万戸の住宅供給に取り組む中，同MoUが時宜を得たものである旨発言した。末松副大臣は，日本政府が，ザンビアにおいて，質の高く，環境に優しい，長持ちするインフラ整備を促進することに関与するとし，どの国でもそうであるが，特に内陸国で他国との貿易に依存するザンビアでは，質の高いインフラが持続的開発の鍵である旨発言した。

5. “穀物の流通業者，24.5万トンのメイズを流通”（Daily Mail, 15日）
ザンビア穀物輸出入協会(GTAZ)は，ミリミルの価格を低下させるべく，24.5万トンのメイズを国内の製粉業者に流通させることに同意した。メイズは，本年1月から5月の期間に市場に流通する。

6. “COMESA，ザンビア・ウガンダ間の鉄道建設について議論”（Times, 24日）
COMESAは，ザンビア・ウガンダ間の鉄道建設について本年中に議論する。23日，ングウェニャCOMESA事務局長は，同鉄道プロジェクトが域内の越境貿易を促進するであろうと発言した。

7. “スウェーデン，ザンビアへの投資を望む”（Daily Mail, 27日）
ムタティ財務大臣は，ザンビア政府が，国内のエネルギーセクター発展に向けた投資を希望する企業の数が増加している点に圧倒されている旨発言した。同大臣は，ザンビアの様々なセクターへの投資促進を目的として，欧州を訪問中である。

8. “カタール航空，ザンビアの空へ”（Times, 30日）
カタール航空は，今年6月にドーハ・ルサカ間の就航を開始する準備にある。ルサカ線にはDreamliner B787(254席)が導入され，週3便が運航する。